

地球環境への負荷を減らしてサステイナブルな未来を創るためには、土壌や生態系を保全し適切に活用することが必要不可欠です。本シンポジウムでは、陸上の生き物や生態系を支える土壌の独特な構造、持続的な農林業実現への土壌の貢献、生物や作物生産に欠かせない一方で環境汚染の原因ともなる窒素とリンの循環、農業由来の温室効果ガスを削減する土壌微生物についての研究をご紹介します。

2025年
3月2日(日)
13:30~16:00 (開場13:15)

オンライン開催／参加無料 (定員500名)
どなたでもご参加いただけます
申込方法: 右の二次元バーコードよりお申し込みくださいZoomのURLをメールでお知らせします



第3回 土壌・生態系 保全



土ひと粒に宇宙: 目に見えない世界の大きな役割

和穎 朗太

農研機構 農業環境部門 上級研究員／東京大学 大学院農学生命科学研究科 連携教授



地球と人類を支える土

藤井 一至

森林研究・整備機構 主任研究員



生態系・食料システムを支える窒素循環

林 健太郎

総合地球環境学研究所 教授



リン循環・リン資源をとりまく問題と解決への展望

國頭 恭

信州大学理学部 教授



土壌微生物による地球冷却

南澤 究

東北大学 大学院生命科学研究科 特任教授

主催



一般社団法人 日本土壤肥料学会
Japanese Society of Soil Science and Plant Nutrition

お問い合わせ

日本土壤肥料学会創立100周年記念事業
本シンポジウム担当



【お問い合わせ先】